

波紋

1995 10月 第124号

9/8(金)モーリングループ戦略発表会

●要工場 田井村次長
 ・仕事のキャバを増やし生産性の向上を図り、
 売上目標金額を達成させる

●丹後工場 鳥羽主任
 ・現状人員のまままで残業時間を0にして
 森松産業生産部年間売上目標を達成させる

●森松産業全体 稲葉部長
 ・現状の人員で重点得意先の拡販
 ・小売部門の設置
 ・特殊部隊による売上げ（海外事業部）

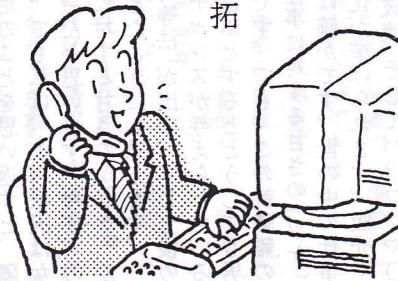
●営業一部 光田部長
 ・地区別拡販で売上達成

●営業二部 山口部長
 ・東京新規開拓・加工先の開拓
 ・東京営業所の開設

●営業三部 牧野部長
 ・大阪地区拡販・新規開拓

●配送・倉庫 横山次長
 ・配達する商品の効率化によるルートの拡大
 ・丹後倉庫の5S

●経理・総務 森（ちか）部長
 ・予算管理・原価管理・資金管理



「新ホー・レン・ソー」

10月1日より第39期が始まります。前期は役職者の皆さんに手当のカット等、色々な面で協力いただき有難うございました。おかげさまで、予算に近い結果を出すことが出来、又、今期以後の方針がハッキリ確認できたと思います。

今月よりスタートの「元氣（電子）メール」も、第一段階より少しずつ会社全体に広めて来るべく、マルチメディア時代に乗り遅れないようにしたい。

森松は小企業ながら、これまでますます経済情勢に付いてこられたのは、常に先取の精神で、新しい事にチャレンジしてきたからではないでしょうか。海外展開でも、すでに10年以上前より欧州・米国へ視察に行き、収穫を得て実行してきました。今回の「元氣（電子）メール」も牧野部長を中心に、従来より元氣あるホー・レン・ソー（報・連・相）が育つ事を願っています。

10月12日（木）・13日（金）、本社5Fで開催される「森松展」に、ぜひ皆さんお越し下さい。待っています。

森 信之

トシ君の一方通行

「現状維持は意地でも嫌」

この原稿が社内報になっている頃、私は牧野君とアメリカへ行く飛行機のエコノミー席で、禁煙時間10時間を味わっておる頃であります。隣の席の牧野君は、9/8に行われた「戦略発表会」におきまして、目標が達成する迄10/1より禁煙すると発表致しましたので、丁度タイミングが良いと思います。稲葉君も目標が達成出来る迄、牧野君と同じく禁煙すると発表致しました。殊勝な心掛けであります。

さて、9/8に行われた「戦略発表会」は、各8チームのリーダーが新期の戦略、つまりどういう具体的な方針をもって新しい期を迎えるかを、全社員の前で発表する場でありまして、森松にとつては初めての試みでありました。その中で、お尻の穴から煙が出る位のヘビースモーカーである稲葉・牧野両人が、飯より好きな煙草を断つて迄、目標を達成する決意を表明致した次第であります。

総評で社長から「初めての試みとしてはよくやったと思う」との言葉が出ましたが、私も同感であります。現状維持の目標ですと15%は下がる世の中で、どうしても目標を高く掲げ、戦術的に実行しなければ経営が成り立たない中小企業の環境ですから、今回のこの試みは成功であったと思います。

問題はリーダーがこの目標を、統率力を發揮していかに達成するかにかかっており、大変ではありますがやりがいのある事でもあります。大変だと思わず、プラス思考で、やりがいのある事と受け止めて頂きたいと願っております。とまあ、ここまではカッコえいけど、だったら朝、暗い顔して会社に来るなよ。現状維持の方針の会社へ行って、毎年15%給料下げてもらいな。そのうち給料無くなるぞ。：という様な事は申しませんが、明るく前向きな方がいいってば。

木村 英利

森松クインテット

「超氷河期」

今年の女子の就職が去年より更に難しく、去年が氷河期と言われたのに対し、今年は超氷河期と言われています。

理由はいろいろですが、森松がこの新社屋を建てる前の「昭和」という時代の終わり頃あの人手不足のことを思い返すと、隔世の感があります。でも私は、この状況は女性にとつて良い機会だと思います。今までの多くの女性の仕事に対する甘さの「ツケ」がここで一気に出てきたようにも思えます。

「男女雇用機会均等法」が出来、同じ土俵の上で雇用や仕事のチャンスが与えられているとはいえ、企業が選ぶとどうしても男性が多くなりがちです。でも、この就職難の理由には、女性の仕事に対する甘さの「ツケ」だけではないことは確かです。世の中の仕事の流れの大きな変化が挙げられます。販売や流通の革命、価格破壊、そしてパソコンやOAの導入でペーパーレスや伝票作成・ファイリングが少なくなってきたこと。又、女性の勤続年数も高くなっていること。等。ですから、これからの女性の職種が事務職や販売職のみでなく、住宅や建設関係、海外勤務、陸上自衛隊：等の広い分野に向けられていくこと。又、大企業ばかりでなく、中小企業の良さにも目を向けるという「意識の変化」が起こったことに、大変意義があると思います。

(独り言)

専門家は、女性に「長期的キャリアプラン」を立ててと言いますが、女性の家事・出産・育児の問題を考えると、企業環境や社会環境はさておき、伴侶選びの段階で責任ある仕事から脱落するのが目に見えるようです。

森 ちか

喜怒哀楽

「その気になり、その気になる」

人と違うことをやれば変わった人と言われ、人と違うことをやって成功すればすごい人と言われる。

プロ野球でも、選手が「その気」になつて毎試合戦っているチームは、おのずと結果がよく、優勝争いに加わっている。TVのスポーツニュースなどで、そのチームの監督のインタビューを聞いても返ってくる返事は、「私は何にもしていません」とか「ただベンチに座っているだけで選手が勝手にやってくれる」と答えるだけ。昔、好きだったあるチームの監督は、シャベリ過ぎの上に結果が出せない為、話題にもならない。

経過はどうであれ、結果が良ければ評価され、結果が良ければ経過も評価される。その結果、終わり良ければすべてよしとなる。

今現在、社員一丸となつてサークル別に「方針を打ち出し、方向づけをし、その方法を考え実行する」為、戦略をたて戦術を考え、それを実行しようとしています。

「今・ここ・私」の積み重ねが、戦術だと私は考え、上司は部下をその気にさせ、部下はその気になるものだと思います。

がんばれ KOUBE

がんばれ 名古屋グランパス

がんばれ NOMO

早く出て来い 一茂(長嶋Jr.)

下垣 紀一

改善発表会 8月26日(土)

第一位 シクラメン(丹後工場製造部)



「S 改革」

森下 友博

私達シクラメンチームは、「S改革」というテーマで取り組みました。内容は、ローマ字、英語で頭文字にSの言葉が付くものを色々探し、その言葉を融合させ、一つの改善案として取り組んだ訳です。やはり5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)が代表される様に、整理とか整頓が中心になりました。実際に活動して工場が片付いた事により思いの上作業がしやすくなり、場所が広くなり幾分作業効率が上がりました。また、打ち合わせの時も皆が次々に面白いアイデアを出しながら楽しく打ち合わせをし、チームが一丸となれました。そして、発表会においても前回とまた一味違う発表ができました。それは、悲願のV2を狙っていたからです。

忘れてならないのは、発表会の小道具で御協力頂いた内職の尾之内さん、澤木さん、営業二部の佐藤さんのお陰です。この場をお借りし、お礼を申し上げます。これからもシクラメンチームは、斬新なアイデア改善集団として頑張っていきます。

第二位 トウモロコシ(営業一部)



「アムコで

チャ！チャ！チャ！」

坂本 隆志

私達トウモロコシでは、今まで「事務の効率化」に関して改善を行なってきましたが、今回はより具体的に一件の得意先にテーマを絞り、事務・営業の効率化に取り組みました。狭い範囲の改善にはなりますが、ミスを減らしてその得意先との充実したコミュニケーションが計れるだけでなく、ここで得たノウハウは必ず他の得意先へも応用できると考えました。実際には試行錯誤の連続で、当初の目的を達成できなかった項目もありましたが、逆にその事から別の発想が生まれ、全ての得意先に対して有効な手段となるものも出てきました。全員で知恵を絞って考えた結果だと思ひ喜んでいます。

毎日の業務の中に「気付き」があり、そこから次の「改善」が生まれる、そう考えてこれからも頑張っていきたいと思ひます。

第三位 ポピー(要工場製造部)



「確認〳〵再見直し〳〵」

谷澤 亨

発表は私個人でするものではなく、サークル全員でするものだ！ということ、今回の改善発表会でつくづく感じました。発表に当たって、サークル全員で資料を手掛け、万全の形で発表会まで持つて行く。そこで発表者が気持ち良く発表できれば、1位間違いないでしょうが、発表者がなにごん気持ち良く発表できなかったのです。今回の3位に甘んじたのでしょうか。しかし、逆に言えば、発表が駄目でも、真意が皆に伝わったから、3位がとれた、とも受けとれます。

いずれにしても、3位という地位に甘えず、次回私が発表するときには、1位を目指す気持ちで改善に取り組む所存であります。

平成7年 10月の社内行事

1日(日) 常務・牧野部長

アメリカ出張

～9日迄

2日(月) 誕生会 12時 4F

3日(火) 竹田沙織さん誕生日

7日(土) 第一土曜日休み

9日(月) 丹後公園アニス 17時～

10日(火) 体育の日

12日(木) 「元気が出る森松展」

13日(金) 9時～17時 5F

14日(土) 第二土曜日休み

” ” 野球対三京アムコ(株)様

” ” 四川省視察 ～21日迄

16日(月) 改善会議 18時

18日(水) 福島文徳さん誕生日

19日(木) 中山ひとみさん誕生日

21日(土) 生産会議 17時10分

23日(月) 竹内治子さん誕生日

24日(火) 編集会議 17時50分

” ” 加藤係長誕生日

25日(水) 経営会議 16時

” ” 営業会議 17時

28日(土) 第四土曜日休み

第3回 「元気が出る森松展」

見て蛙か 見ないで蛙か…

会 期 1995年10月12日(木)～13日(金)
A. M. 9 : 00～P. M. 5 : 00

会 場 森松(株)本社ビル 5 F ホール



※ご来場お待ちしております。

編集後記

九月の連休に鎌倉へ行って来ました。あいにくの雨で楽しみにしていた鶴岡八幡祭の流鏝馬が行われず残念でしたが、その分とにかく歩いて沢山の場所をまわってきました。鎌倉の人はみんなやさしく、いろんな所で「どこに行くの?」と声をかけて下さり、親切に道順を教えてくださいました。激しい雨の中、重そうな買い物袋をいくつも持って話しかけてくれたお母さん、ありがとうございます。沢山の出会いがあるから旅行って楽しいんですね。

さあ、行楽の秋です。おいしいものを求めてどこかに出掛けませんか?

谷口 香

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
高橋 武夫

平成7年10月1日
第124号